

殺虫殺菌剤

サンクリスタル[®] 乳剤

脂肪酸グリセリド乳剤

®はサンケイ化学(株)の登録商標

上手な使い方

このような場面で！

有効成分：脂肪酸グリセリド 90.0%
毒性：普通物
(毒劇物に該当しないものを
指している通称)
規格：500mℓ

- コナジラミ類やうどんこ病の防除に！
- 抵抗性回避を目的としたローテーション防除に！
- 作期の長い作物で、化学合成農薬の温存に！
- 天敵を利用している場面で！

効果のある
主な病害虫

・ハダニ類 ・コナジラミ類 ・チャノホコリダニ
・アブラムシ類 ・トマトサビダニ ・うどんこ病

特長

- ① 植物油脂を有効成分とする安全性の高い薬剤です。
- ② 抵抗性や耐性菌発生の少ない物理的防除剤です。
- ③ コナジラミに対して寄生阻害効果や産卵抑制効果があります。
- ④ 収穫前日まで使用可能で、散布回数制限はありません。
- ⑤ 有機栽培農産物生産にも使用可能です。
- ⑥ 有効成分はポジティブリスト制度の対象外物質です。



効果的な使用方法

- 本剤は物理的に作用する剤ですので、ムラなくかかるよう、葉の表裏へ丁寧に散布しましょう。
- 1週間間隔で2～3回連用すると効果的です。多発時は散布間隔を短縮することをおすすめします。
- 他剤との同時防除で汚れ軽減効果のあることが確認されています。

天敵類・訪花昆虫に対する影響について 以下の生物に対して影響の少ないことが確認されています。

天敵類／タイリクヒメハナカメムシ、ハナカメムシ類、チリカブリダニ、ミヤコカブリダニ、スワルスキーカブリダニ、ククメリスカブリダニ、タマゴバチ※、コレマンアブラバチ※、イサエアヒメコバチ※、サバクツヤコバチ※、チチュウカイツヤコバチ※、ナミテントウ、クサカゲロウ、タバコカスミカメ、クロヒョウタンカスミカメ

(※の付いた天敵については本剤を散布し風乾後に放飼することをおすすめします)

訪花昆虫／ミツバチ、マルハナバチ

ご使用にあたって(注意点)

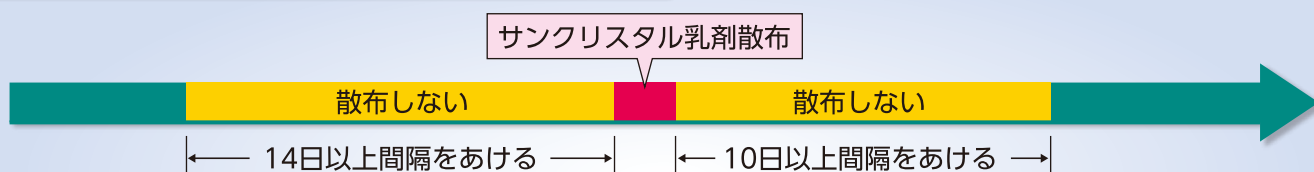
展着剤の使用について

- 本剤は拡張性に優れるため、展着剤を加用する必要はありません（混用時も加用の必要はありません）。また、機能性展着剤の加用により薬害を生じることがありますので、機能性展着剤は加用しないよう注意してください。

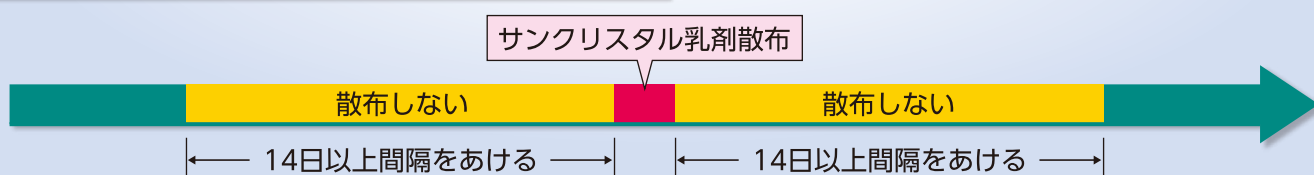
混用散布・近接散布についての注意点

- ストロビルリン系の殺菌剤（アゾキシストロビン剤、クレンキシムメチル剤等）および TPN 剤（混合剤を含む）との混用散布及び近接散布により強い薬害を生じる場合がありますので、混用散布を避け、近接散布間隔に注意してください。
前後散布について、本剤散布後にストロビルリン系殺菌剤を散布する場合は10日以上間隔をあけて散布、逆にストロビルリン系殺菌剤散布後に本剤を散布する場合は、14日以上間隔をあけてください。
また、TPN 剤との前後散布について、混用事例集の中で薬害事例のある作物はいずれの場合も14日以上間隔をあけて散布してください。
- 現地混用を行う際には、混用事例集をご参照ください。

ストロビルリン系殺菌剤との前後散布



TPN 剤との前後散布



葉面散布肥料を使用する場合の注意点

- 葉面散布肥料との混用により薬害を生じる場合があるので、葉面散布肥料との混用は避けてください。

散布のタイミングについて（いちご）

- いちごでご使用頂く場合、完熟状態の果実に散布すると品種により果皮が黒ずむ場合があるので、本剤を使用する場合は完熟となる前までに散布してください。また、完熟の果実を収穫する際は、それらの果実を全て収穫した後に散布することをおすすめします。

